

TC-S

TRACTION CONTROL SYSTEM

取 扱 説 明 書

BLITZ
POWER INNOVATION

この度は弊社製品をお買い上げ頂き、誠に有り難うございます。

お願い!!

- この取り扱い説明書には製品を使用する際の注意事項が明記されております、よくお読みになって正しくご使用ください。
- 本書は、いつでも取り出して読めるように、必ず保管してください。

製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせは、お電話またはFAXにて下記宛にお願い致します。

- 連絡先 (株)ブリッツ
- 住所 東京都西東京市新町4-7-6
- TEL 0422-60-0515
- FAX 0422-60-0521

安全の為に!!

- 本製品は、精密電子装置です、取り付け、操作に関しては説明書に従って、十分に注意して行ってください。
- 本製品の取り付け作業には、設備の整った工場で、専門の知識を持った整備士の方が作業を行ってください。
- 誤配線や、ショートには十分気を付けて下さい。これらにより引き起こされたエンジン破損、車両火災等のトラブルに関しては、当社は一切責任は負いかねます。
- 走行直後の作業は、ブレーキ、エンジン等、大変高温になっております、十分冷やした状態で、作業を開始してください、火傷等の原因となります。
- 本製品を、追加工したり、分解したりしないで下さい。
- バックアップで、常時電源を使用します、長時間車両を放置する場合、適切な処置をしてください。

基本設定KIT (品番14502)

- ：トラクションコントローラー本体
- ：汎用ハーネス
- ：コントロールBOX
- ：取扱説明書

オプション設定

- ：ECUとABSの車種専用ハーネス
EP91、JZX100、JZA80、RPS13、S14、S15の設定有り
- ：パソコンハーネス

注意：BLITZトラクションコントローラーは、ABS装着車が基本です。

ABSセンサーから各車輪のスピード信号を計算しています。

：セッティング変更にはDOS/Vパソコンとオプションのパソコンハーネスが必要です。

：追加インジェクターが付いている車両には使用できません。

：GT-R等の4WD車両は使用できません。

仕様：BLITZトラクションコントローラーは、ABSセンサーからの信号で前後左右のスリップ率を計算して、インジェクターを制御しフューエルカットを行い、パワーをコントロールします。

：チャンネルは、ON－赤ランプ点灯（長時間使用し無い場合はOFFして下さい）

WET－雨の日に使用します。

DRY－パソコンで設定した値でコントロールします。

10%－DRY+10%

15%－DRY+15%

20%－DRY+20%

：Launchコントロールはスタート時に、設定したエンジン回転数をアクセル全開で一定に保ちます。

作動は、グリーンのボタンを押すとLaunchコントロールが始まり、アクセルを全開にすると設定回転数で止まります。クラッチをつないでスタートして車速が入力されるとLaunchコントロールはOFFします。

一度車速が入力されると通常のトラクションコントロール制御に戻ります。

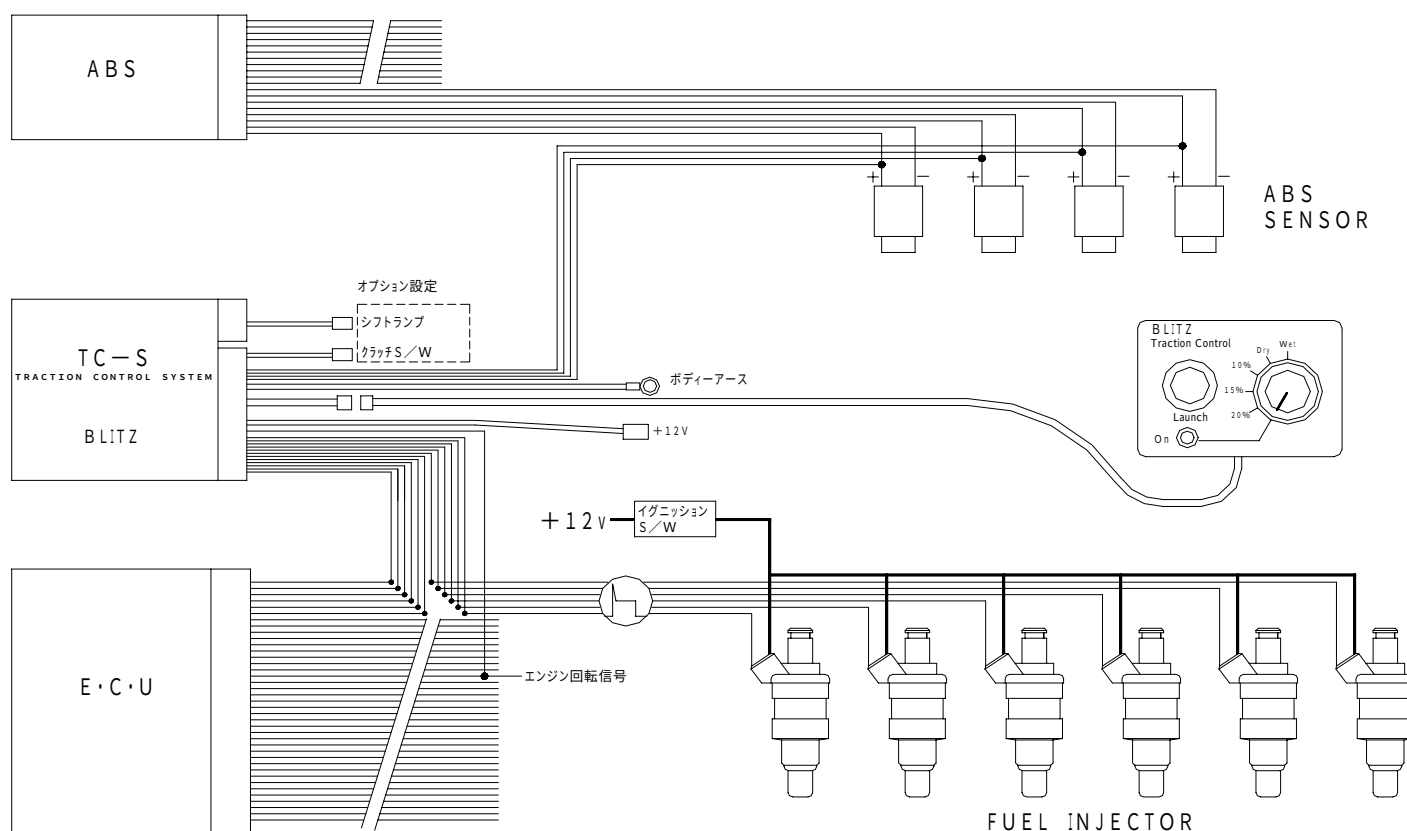
：トラクションコントロール制御は車速でOFFします。
OFFするスピードはパソコンで設定します。

：シフトタイミングライトが接続できます。
ライト点灯の回転数はパソコンで設定します。

：クラッチスイッチの取り付けでアクセルを戻さずにシフトアップが可能になります。

取り付け

1・取り付け構成図



注意：ABSセンサーの+と-は自動車メーカー発行の配線図で確認して下さい。

：フューエルインジェクターは信号線側の配線にTC-Sを割り込ませて配線して下さい。

ABSセンサー配線

センサー	配線
FL	赤
FR	青
RL	黄
RR	緑

インジェクター配線

ECU	配線	I/J	配線
1	赤	1	赤／黒
2	オレンジ	2	オレンジ／黒
3	黄	3	黄／黒
4	緑	4	緑／黒
5	グレー	5	グレー／黒
6	ピンク	6	ピンク／黒

：ABSセンサーでRPS13等リヤ側のセンサーが1個しか無い場合は、黄色と緑をセンサーに配線して下さい。

：インジェクター配線は、4気筒は1～4までを配線します。5－6は配線しません。

パソコンでの設定

：トラクションコントロールの基本値設定。(前後または左右のスピード差)

：Launchスタートの回転数。(ドライとウェット設定できます)

：シリンダー数の入力。(ロータリーは2気筒)

：トラクションOFFのスピード設定。

：駆動輪のABSセンサーギヤ数を入力。

：駆動輪では無い方のABSセンサーギヤ数を入力。

：駆動輪のタイヤ径を入力。(直径をmm単位で入力します)

：駆動輪では無い方のタイヤ径を入力。(直径をmm単位で入力します)

：ABSセンサーの前後配線位置を入力。

：ABSセンサーの左右配線位置を入力。

：シフトランプタイミング回転数を入力。（シフトランプ使用時のみ）

：フルスロットルシフト回転数を入力。（使用時のみ）

以上の基本設定が必要です。

※Launchコントロールの設定はコントロールBOXでもできます。

車両停止状態で、グリーンボタンを一度押して、すぐもう一度グリーンボタンを押しながらアクセルで回転数を合わせ、任意の回転数になったら、ボタンを放します。変更後は必ず確認して下さい。

株式会社 ブリッツ

URL：<http://www.blitz.co.jp>

TEL：0422-60-0515 FAX：0422-60-0521

住所：〒202-0023 東京都西東京市新町4-7-6

取扱説明書番号：14502-001

セッティング変更方法

[E] を押すとメニュー画面が出ます **[大文字です、CapsLockをかけて下さい]**

=====SETUP MENU=====

P – Percentage slip

L – Launch Control rev limits

S – Maximum speed & Number of cylinders

W – Wheel speed menu

Q –Quit

=====

と、画面に現れます。

(これにて、ユニットと通信がされております。)

Slip Percentages

このコマンドでは、フューエルインジェクターのカットするタイミングを変更できます。

メインメニューの画面で [P] を、押すと下記画面が表示されます。

=====Slip Percentages=====

C – Change % slip for traction control

Q – Quit

=====

この画面で [C] を、押してください。

>

Current value :###% (現在の数値)

Enter new value:

ここで、**3桁**で数値を入力してください。

[Enter] を押すことによって設定値が変更されます。

上記画面で設定値を変更したくない場合は、数字を入れずに [Enter] 又は [Esc] を押してください。

Launch Control Rev limits

このコマンドでは、ラウンチングスタートのエンジン回転数を設定できます。

メインメニューの画面で [L] を、押すと下記画面が表示されます。

=====Slip Percentages=====

L – Rev limit DRY

shft+L – Rev limit WET

Q – Quit

=====

この画面で [L] を、押してください。

>

Current value :#####rpm (現在の数値)

Enter new value:

ここで、**5桁**で数値を入力してください。

[Enter] を押すことによって設定値が変更されます。

同様に、[Shift] + [L] を押すとスイッチユニットのウェット状態の回転数が変更できます。

上記画面で設定値を変更したくない場合は、数字を入れずに [Enter] 又は [Esc] を押してください。

この調整はPC無しで、スイッチユニットより変更も出来ます。

Maximum speed menu

このコマンドでは、各種設定できます。

メインメニューの画面で [S] を、押すと下記画面が表示されます。

=====Maximum speed menu=====

C – Number of cylinders

S – Maximum speed for operation

Q – Quit

=====

エンジンの気筒数をユニットに入力します。

この画面で [C] を、押してください。

>

Current value :#####Cylinders (現在の数値)

Enter new value:

ここで、**5桁**で数値を入力してください。

[Enter] を押すことによって設定値が変更されます。

6 気筒の場合 00006 [Enter] と、押すと 6 気筒へ変更されます。

次に、車速によって TC-S の作動を止める設定をします。

このコマンドメニューで [S] を、押してください。

>

Current value :#####Kmh/100 (現在の数値)

Enter new value:

ここで、**5桁**で数値を入力してください。

[Enter] を押すことによって設定値が変更されます。

注意

入力数値に若干の変更が必要です下記に例を記します。

例) :100 *₀で作動を止める場合 0 1 0 0 0 [Enter]

 :250 *₀で作動を止める場合 0 2 5 0 0 [Enter]

 :作動を止めない場合 6 5 5 3 5 [Enter]

上記画面で設定値を変更したくない場合は、数字を入れずに [Enter] 又は [Esc] を押してください。

Wheel speed sensor menu

ここでは、駆動輪の初期設定を行います。

メインメニューの画面で [W] を、押すと下記画面が表示されます。

=====Wheel speed sensor menu=====

- N - Number of pulses per rev – Driven
- M - Number of pulses per rev – Reference
- T -Wheel diameter – Driven
- U -Wheel diameter – Reference
- 1 -Channel 1 = Reference
- 2 -Channel 2 = Reference
- 3 -Channel 3 = Reference
- 4 -Channel 4 = Reference
- A -Channel 1 = Left
- B -Channel 2 = Left
- C -Channel 3 = Left
- D -Channel 4 = Left
- Q -Quit

=====

このコマンドメニューで [N] を、押してください。

>

Current value :#####Reference points per revolution (現在の数値)

Enter new value:

ここで、**駆動輪側**のパルス数を**5桁**で数値を入力してください。

[Enter] を押すことによって設定値が変更されます。

このコマンドメニューで [M] を、押してください。

>

Current value :#####Reference points per revolution (現在の数値)

Enter new value:

ここで、**駆動輪側では無い**のパルス数を**5桁**で数値を入力してください。

[Enter] を押すことによって設定値が変更されます。

このコマンドメニューで [T] を、押してください。

>

Current value :#####Millimetres (現在の数値)

Enter new value:

ここで、**駆動輪側**の直径を**5桁**で数値を入力してください。

[Enter] を押すことによって設定値が変更されます。

このコマンドメニューで [U] を、押してください。

>

Current value :#####Millimeters (現在の数値)

Enter new value:

ここで、**駆動輪側では無い**の直径を**5桁**で数値を入力してください。

[Enter] を押すことによって設定値が変更されます。

このコマンドメニューで [1 ~ 4] を、押してください。

>Designate as reference wheel : NO (又は YES)

駆動しない方のスピードセンサー信号を入力している方を YES とスペースキーで選択してください。

選択し終わったら [Enter] を押すことによって設定が変更されます。

このコマンドメニューで [A ~ D] を、押してください。

>Designate left / right (left = on) : NO (又は YES)

左側 のスピードセンサー信号を入力している方を YES とスペースキーで選択してください。

選択し終わったら [Enter] を押すことによって設定が変更されます。

主要車両のスピードセンサーパルス数

TOYOTA

JZA80	Dr : 48	Ref : 48
JZX100	Dr : 48	Ref : 48
EP91	Dr : 38	Ref : 38

NISSAN

S14	Dr : 23	Ref : 46
S15	Dr : 23	Ref : 46
RPS13	Dr : 23	Ref : 46
ECR33	Dr : 23	Ref : 46
ER34	Dr : 21	Ref : 46
Z32	Dr : 46	Ref : 46

MAZDA

FD3S	Dr : 44	Ref : 44
------	---------	----------

注意

：パルス数を入力時の注意点は、前後輪で同じ数の物は間違って入力した場合、トラクションOFFのタイミングが早くなったり遅くなったりします。
S14などの前後輪のパルス数が違う車両で、間違って前後同じ数を入力すると普通に走行しただけでトラクションが働いてしまいます。

通信ソフトの設定

□Windows 95／98のスタート

↓プログラム

↓アクセサリ

↓通信

↓ハイパーターミナル

↓Hypertrm.exe をダブルクリック

↓名前を記入 (Blitz Tc-s)

↓OK

↓接続方法

↓Com1へダイレクトを選ぶ

↓OK

↓ビット／秒：19200を選ぶ

↓データビット：8を選ぶ

↓パリティ：なしを選ぶ

↓ストップビット：1を選ぶ

↓フロー制御：Xon／Xoff

↓OK

↓ファイル（名前を付けて保存）

↓デスクトップに保存する

以上でRS232CケーブルでTC-Sとパソコンを接続し、デスクトップ上に出来たアイコンをダブルクリックして下さい、通信が可能になります。